



発行所: 有限会社 西川工務店  
松阪市町平尾町164-3  
TEL 0598-51-7040  
FAX 0598-51-7140  
URL http://www.nishikawakoumuten.co.jp

## ヨーロッパに学ぶ 眺めを楽しむ庭づくり

### 冬の庭

多くの草花が休息に入る冬に、ガーデニングの主役となるのは、コニファー(針葉樹)や月桂樹などの「常緑樹」です。ヨーロッパで昔から繁栄の印とされてきた常緑樹は、クリスマスや新年などイベントの多い冬に欠かせない植物。そんな常緑樹が主役の冬にぜひ注目して欲しいのは、樹木を球形や動物の形などに刈り込み、その造形美を楽しむトピアリーです。

#### POINT 1 トピアリーの造形美を楽しむ

ヨーロッパの街を歩いていると、玄関先に常緑樹のトピアリーが飾られている光景をよく目にします。そして多くの場合、左右対称に同じものが並べられています。それはヨーロッパの家のスタイルが左右対称になっているため。ひとつひとつの植物の美しさだけでなく、たたずまいも含めた全体的な「美」を追求しているのです。



ヨーロッパにおけるトピアリーの歴史は、古代ローマ時代までさかのぼり、プリニウスの『博物誌』の中に記述を見ることができる。奴隷の庭師が、生垣に主人と自分のイニシャルを刈り込んだのが最初といわれている。

ヨーロッパでも、ここ4、5年で特にトピアリーの人気が高まりました。コンテナを左右対称に置いたり、繰り返し並べたり。“片付いて見える”トピアリーは、街の景観を整った印象にしてくれます。日本ではまだまだあまり見かけませんが、建物の西洋化が進む街並みにトピアリーはきっと似合うはず。今年の冬はトピアリーのコンテナを買って、自宅の玄関や窓辺に飾ってみてはいかがでしょうか。



#### POINT 2 トピアリーのDIYに挑戦

シンプルなトピアリーなら、手づくりもできます。針金でフレームを作り、それに樹木を添わせてビニール紐などで固定。あとはフレームから出た余分な葉や枝を、ハサミで切って整えていきます。草花が休息する冬のガーデニングの楽しみの一つとして、トピアリーに挑戦してみたいのではないでしょうか。



好みの形に針金でフレームを作る。



伸びてきた余分な枝葉をカットして整える。

新築・増改築はもちろん、キッチンやトイレの改修などちょっとした事でもお気軽にご相談下さい!!

#### POINT 3 年末年始に大活躍の常緑樹

イベントの多い冬に重宝するのが、常緑樹のコンテナです。クリスマス飾りを付ければクリスマスツリーに、和風の飾り付けをすればお正月風に。クリスマスやお正月に玄関を彩るのは、ひとつの杉のコンテナです。もちろん冬以外の季節も鮮やかな緑色の葉をつける常緑樹。短い期間ですぐに片付けてしまうクリスマスツリーや門松を準備するなら、常緑樹のコンテナをひとつ購入してみてください。1年中活躍させることができます。



クリスマスにリースを飾るのは、日本もヨーロッパも同じ。“永遠にこの繁栄が続きますように”という願いを込め、円状につくられます。常緑樹のリースが多いのも“一年中枯れない=永遠”の意味合いがある為。あちらこちらに様々なアクセントを付けても華やかですが、均一に飾り付けるのが本来のリースの形なのです。



剪定枝を利用したリース。「実り」の意味がある実のものが彩るのもポピュラー。



枯れ枝で作ったリース。クッキーで遊び心を。

#### 定休日のご案内

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

※丸の付いている日が定休日です。